

安芸税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞
「税について」

馬路村立馬路中学校 三年
尾谷 昇太

僕は、今まで「税なんて自分に関係ないことだ。」と置いていたけど、先日、税務署の人が来てくださって改めて税のありがたさを知りました。もし税金が無かったら、普段何気なく使っている教科書が無いから勉強が出来ないし、建物や道が壊れても、そのまま、信号機も無いから事故ばかり起こるので、税金があつて本当に良かったなと思いました。

それに税金にはたくさんの種類があることを知りました。僕が知っている消費税や所得税のほかに、たばこ税や酒税、ゴルフ場利用税など聞いたことも無い税金があつて、こんな特殊な税金もあるんだなと思い、税金は僕たちの暮らしにすごく役立っているんだなと思いました。

しかし少子高齢化が進んでいる中で、税についての問題が「高齢を支える働き手が少ない」ことです。こうなると、一人分の税の負担が大きくなりその人の収入が減ってしまうと思います。働いている人にとっては、その負担はたぶん辛いもので嫌になると思います。でも働くことの出来なくなった高齢者たちが安心して暮らしていくためには、僕たちの税金が必要となってくるので、これは「負担」よりも「人助け」になるかもしれません。

僕が今納めているのは、消費税ですが、そのお金が、公共で利用する施設などの整備にかかる費用や、世界の貧しい人たちに送られるので、こんな僕でも社会に貢献しているんだなと思い、とてもうれしく誇らしい気持ちになります。そして、その気持ちが税金や納税の大切さを一層強く感じさせてくれます。僕は大人になって納税するのが少し楽しみになりました。

僕は、今まで普段ゆったりと充実した環境の中で勉強できることは当たり前だと思っていただけ、この作文を通して、税金は僕たちの学校生活や国民の安全で住みよい暮らしを支えてくれていることを学んだ。いつも当たり前のように思っていた恵まれた生活もすべて税金のおかげである。

僕は、すばらしい環境の学校で勉強できることに感謝しながら、何ごとにもくじけず、強く生きていきたいと思った。そして、大人になったら、一生懸命働いて、税を納め、国民としての義務をきちんと果たす人間になりたいと思う。それに、社会に貢献していける立派な人間になりたいと思いました。